

労働図書館新着情報

今月の図書紹介

① 榎原洋平著『エッジソン・マネジメント』PHP研究所

(2020年8月刊, 239p, 四六判)

本書では、大学生の4年間と卒業後、企業に就職してからの3年間で「ゴールデンセブン」と命名。人材育成における非常に重要な黄金の7年間という意味で、著者はこの期間を最適化することが、日本の唯一にして最大の資源である「人財」を大きく飛躍させるカギだと主張する。本書では若手のキャリアにおいて早期育成を阻害する4つの分断があると、「高校と大学の分断」「大学と企業の分断」「採用と育成の分断」「人事と職場の分断」の4つを乗り越えるために何をすべきかを問題提起する。そこで注目するのが日本の武器である「新卒一括採用」の刷新。欧米型のような極端なジョブ型を導入するのではなく、新卒一括採用の仕組みを残しつつ、日本流にアレンジした「新ジョブ型」の雇用環境を生み出していくことが求められているのだと解説する。

ゴールデンセブンの「人物像」については、論理的思考やプログラミングスキルなど特定の「専門性」をもった人物にとどまらず、実現したい目的があり、成果を創出できる「エッジソン(トガった)な人財」を想定する。

② 橋木俊詔著『中年格差』青土社

(2020年7月刊, 206p, 四六判)

現在の30代半ばから40代半ばに当たる中年世代は、就職氷河期に求職したが、正規としての仕事が多くなく、多くの人が無職か、職があっても非正規という場合が多かった。本書は、こうした中年世代がいま経済的に困窮しているのに加え、社会的にも不利な人生を送っていると指摘。例えば、①結婚できない②社会保障制度に加入できない③引きこもりになる——などをあげる。これらは、中年世代における自殺率と離婚率が高いことで確認できると強調。本書はこうした現象を「中年格差」と呼び、統計を使用して実態を明らかにする。結論から言えば、著者は日本に特有な「一度失敗すればばね回が不能」という文化に中年格差の原因があると分析する。

本書には、格差解消のための政策提言も盛り込まれている。第一に、介護保険の保険料徴収年齢の引き下げがある。現在40歳以上が対象であるところを40歳未満の人にも保険料負担をお願いしても良いのではないかとの見方だ。二つ目には失業率が高くないいま、雇用保険の給付条件を従来以上に緩和すべきだと説いている。

(日本十進分類[NDC]順に掲載)

主な受け入れ図書

(2020年8月-9月労働図書館受け入れ)

③ 渡邊哲也ほか著『アフターコロナ』

かや書房 (239頁, 四六判)

④ 村上陽一郎編『コロナ後の世界を生きる』

岩波書店 (vii+295頁, 新書判)

⑤ 十川陽一著『人事の古代史』

筑摩書房 (270頁, 新書判)

⑥ 服部泰宏著『組織行動論の考え方・使い方』

有斐閣 (xiii+391頁, A5判)

⑦ 梅崎修ほか著『「仕事映画」に学ぶキャリアデザイン』

有斐閣 (xiii+223頁, A5判)

⑧ デヴィッド・グレーバー著『ブルシット・ジョブ: クソどうでもいい仕事の理論』

岩波書店 (vii+426+7頁, A5判)

⑨ 大内伸哉著『デジタル変革後の「労働」と「法」』

日本法令 (xvi+379頁, A5判)

⑩ 中野公義著『パワハラ・セクハラ裁判所の判断がスグわかる本』

日経法令 (318頁, A5判)

⑪ 千葉祐大著『小さな会社の外国人活用の教科書』

ぱる出版 (223頁, 四六判)

⑫ 左右社編集部編『仕事本: わたしたちの緊急事態日記』

左右社 (446頁, 四六判)

労働図書館 <https://www.jil.go.jp/lib/index.html>

当図書館は、社会科学関係書を中心に和書125,842冊、洋書32,810冊、和洋の製本雑誌27,114冊を所蔵している日本有数の労働関係の専門図書館です。

労働関係の分野には、労働法、労働経済、労働運動、雇用職業、女性労働、パート派遣、高齢者労働、障害者労働、外国人労働、社会福祉などがあり、これらで、蔵書の半数以上を占めています。このほかにも、経済書をはじめ経営学、心理学、教育学、社会学など関係分野に及んでいます。また、和雑誌(244種)、洋雑誌(139種)、紀要(502種)、組合機関誌・紙を受け入れています。

特色としては、厚生労働省をはじめとする官公庁発行の統計類などの逐次刊行物、経団連など経営者団体の刊行物や民間研究機関刊行物、社史があり、労働組合に関しては、労働運動史、ナショナルセンターや産業別組合の大会資料などを継続的に収集しています。洋書については、特に国際労働機関(ILO)総会の議事録や経済協力開発機構(OECD)の刊行物、各国政府の労働統計書などを収集して閲覧に供しています。特殊コレクションとしては、戦前・戦後を通して歴史的に貴重な労働組合の原資料を収集、提供しています。

所在地: 〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23

開館時間: 9:30 ~ 17:00

休館日: 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12月28日~1月4日)、その他

電話番号: 03(5991)5032 / FAX: 03(5991)5659

利用資格: どなたでもご自由にご利用できます

貸出: 和書・洋書とも2週間、5冊までです

※身分証明書(運転免許証など)をお持ちください

レファレンス・サービス: 図書資料の所在調査などのサービスを行っています



※現在、新型コロナウイルス流行の影響で臨時閉館している場合があります。開館情報はHPでご確認下さい。